

NY マーケットレポート（2014 年 4 月 24 日）

昨晚の NY 外国為替市場は、序盤に発表された米耐久財受注が 2 ヶ月連続でプラスとなり、2013 年 11 月以来の高い伸び率となったことを受けて、ドル買い・円売りが優勢となりました。ただ、失業保険申請件数が予想より悪化したことから、やや上値は限定的となりました。また、これを受けてクロス円も序盤は堅調な動きとなりました。しかし、その後、ウクライナ情勢の緊張が高まるとの懸念が広がり、欧米の株価が下落するなど、投資家のリスク回避の動きが強まったことから、安全資産とされる円を買う動きが優勢となりました。円は、大半の主要通貨に対して上昇する動きとなりました。午後に入り、マイナス圏まで下落していた株価が値を戻す動きとなったことから、ドル円・クロス円も安値から値を戻す動きとなりましたが、やや上値の重い展開が続きました。

2014/ 4/24 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	102.41	102.58	102.25
EUR/JPY	141.66	141.71	141.33
GBP/JPY	171.93	172.13	171.65
AUD/JPY	94.99	95.32	94.96
EUR/USD	1.3833	1.3826	1.3812

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	102.47	102.31
EUR/JPY	141.79	141.44
GBP/JPY	172.10	171.81
AUD/JPY	95.04	94.85
EUR/USD	1.3844	1.3815

*LD高安は東京クロース～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14404.99	-141.28
ハンセン指数	22562.80	+53.16
上海総合	2057.03	-10.35
韓国総合指数	1998.34	-2.03
豪ASX200	5531.00	+13.24
インドSENSEX指数	22876.54	+118.17
シンガポールST指数	3283.93	+25.92

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6703.00	+28.26
仏CAC40	4479.54	+28.46
独DAX	9548.68	+4.49
ST欧州600	336.13	+1.08
西IBEX35指数	10462.00	+37.60
伊FTSE MIB指数	21819.48	+143.73
南ア 全株指数	48934.51	+28.89

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	102.30	102.65	102.09
EUR/JPY	141.48	141.77	141.05
GBP/JPY	171.87	172.20	171.49
AUD/JPY	94.73	95.02	94.56
NZD/JPY	87.65	87.86	87.45
EUR/USD	1.3832	1.3834	1.3791
AUD/USD	0.9261	0.9273	0.9252

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16501.65	+0.00
S&P500	1878.61	+3.22
NASDAQ	4148.34	+21.37
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14554.25	+20.86
🇧🇷 ボルサ指数	40407.93	+110.95
🇲🇽 ボベスパ指数	51817.45	+247.76

4/25 経済指標スケジュール

08:30	【日】3月全国消費者物価指数
13:30	【日】2月全産業活動指数
14:00	【シンガポール】3月鉱工業生産
17:30	【英】3月小売売上高指数
17:30	【英】3月BBA住宅ローン承認件数
22:55	【米】4月ミシガン大学消費者信頼感指数
23:00	【メキシコ】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1290.60	+6.00
NY 原油	101.94	+0.50
CME コーン	501.25	-2.25
CBOT 大豆	1472.00	+3.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.44%	0.44%
3年債	0.90%	0.89%
5年債	1.74%	1.71%
7年債	2.27%	2.27%
10年債	2.68%	2.69%
30年債	3.46%	3.47%

4/25主要会議・講演・その他予定

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 102.42 ユーロ/円 141.59 ユーロ/ドル 1.3825

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6716.82	+42.08	ダウ INDEX FUTURE	16492	+32
仏 CAC40	4491.65	+40.57	S&P500 FUTURE	1880.30	+7.40
独 DAX	9584.32	+40.13	NASDAQ FUTURE	3605.50	+51.00

(出所: SBILM)

21:00

《米企業決算》

米 3M

第1四半期の1株利益は1.79ドル（予想1.80ドル）

米 GM

第1四半期 調整後1株利益0.29ドル（予想0.04ドル）

米 キャタピラー

第1四半期 調整後1株利益1.61ドル（予想1.23ドル）

米 ベライゾン

第1四半期の実質1株利益0.91ドル（予想0.87ドル）

21 : 30

《 経済指標の結果 》

新規失業保険申請件数 32.9 万件（予想 31.5 万件・前回 30.5 万件）前回発表の 30.4 万件から 30.5 万件に修正

失業保険継続受給者数 268.0 万人（予想 274.5 万人・前回 274.1 万人）前回発表の 273.9 万人から 274.1 万人に修正



（出所：ブルームバーグ）

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	前週比	4 週移動平均	受給者数	受給者比率
14/04/19	329,000	+24,000	316,750	*****	*****
14/04/12	305,000	+4,000	312,000	2,680,000	2.0%
14/04/05	301,000	-31,000	316,500	2,739,000	2.1%
14/03/29	332,000	+22,000	321,000	2,750,000	2.1%
14/03/22	310,000	-13,000	319,250	2,838,000	2.2%
14/03/15	323,000	+4,000	329,500	2,814,000	2.1%
14/03/08	319,000	-6,000	331,250	2,869,000	2.2%
14/03/01	325,000	-26,000	337,250	2,850,000	2.2%
14/02/22	351,000	+21,000	338,000	2,890,000	2.2%
14/02/15	330,000	-13,000	336,500	2,941,000	2.2%
14/02/08	343,000	+15,000	337,500	2,936,000	2.3%
14/02/01	328,000	-17,000	334,250	2,918,000	2.3%

受給者数は集計が1週間遅れる

21 : 30

《 経済指標の結果 》

3 月米耐久財受注（前月比） 2.6%（予想 2.0%・前回 2.1%）前回発表の 2.2%から 2.1%に修正

3 月米耐久財受注[除輸送用機器] 2.0%（予想 0.6%・前回 0.1%）前回発表の 0.2%から 0.1%に修正



（出所：ブルームバーグ）



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《米耐久財受注》

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
耐久財新規受注	2.6	2.1	-1.4	-5.3	2.7	-0.7
輸送機器除く	2.0	0.1	0.9	-1.8	0.2	0.7
国防関連除く	1.8	1.8	-2.0	-4.3	2.9	0.2
資本財	8.5	-1.8	-3.7	-8.5	7.4	-2.6
輸送機器	4.0	6.7	-6.2	-12.1	8.1	-3.5
総受注残	0.6	0.2	0.0	0.2	0.9	0.6
総在庫	0.5	0.8	0.2	0.9	0.3	0.3
総出荷	1.1	1.0	-0.6	-1.7	1.4	0.6



(出所:ネットダニアー)

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、3 月の米耐久財受注が市場予想を上回ったことなどから、ドルを買って円を売る動きが優勢となったものの、米雇用関連指標が予想より悪化したことから上値の重い動きとなっている。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16530.01	+28.36
ナスダック	4173.14	+46.17

(出所:SBILM)

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、3 月の米耐久財受注が市場予想を上回ったことや、米アップルが前日発表した四半期決算が好業績だったことを受けて、主要株価は堅調な展開で始まった。しかし、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に売りが出て、主要株価はマイナス圏まで下落している。

0 : 00

《 経済指標の結果 》

4 月カンザスシティ連銀製造業活動指数 7 (予想 8・前回 10)



(出所:ブルームバーグ)

《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、前週比+2.4万件的32.9万件となり、3月29日までの週以来の高い水準となった。申請件数の4週移動平均は、前週比+4750人の31万6750人となった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-6.1万人の268.0万人となり、2007年12月8日までの週以来の低水準となった。受給者数の4週移動平均は、前週比-3万3500人の275万2250人と、2007年12月29日までの週以来の低い水準となった。そして、受給者比率は前週比0.1ポイント低下の2.0%だった。

(2) 3月の米耐久財受注は、前月比+2.6%の2348億3900万ドルと2ヵ月連続でプラスとなった。2013年11月以来の高い伸び率となった。輸送機器を除いた受注は+2.0%と、2013年1月以来の大きな伸び率となった。

①輸送機器で自動車・同部品や民間航空機がプラスとなったことや、一次金属、一般機械、電機・家電が増加したことが全体の水準を押し上げた。

②輸送機器が+4.0%、変動の激しい民間航空機は+8.6%、自動車は+0.4%、国防関連の航空機は-5.8%だった。輸送機器以外では、電算機・電子製品が+5.7%、一次金属は+2.0%、一般機械は+0.5%、電機・家電は+3.5%だった。

③資本財は+8.5%となり、2013年6月以来の大きな伸び、資本財から国防関連を除いた受注は+7.1%、国防関連は+21.6%。民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア受注は+2.2%。

④耐久財全体の出荷高は+1.1%、受注残高は+0.6%、在庫高は+0.5%となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6703.00	+28.26
仏 CAC40	4479.54	+28.46
独 DAX	9548.68	+4.49
ストック欧州 600 指数	336.13	+1.08
ユーロファースト 300 指数	1343.27	+4.43
スペイン IBEX35 指数	10462.00	+37.60
イタリア FTSE MIB 指数	21819.48	+143.73
南ア アフリカ全株指数	48934.51	+286.89

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、欧州企業M & A活発化への期待などから序盤から堅調な動きとなった。しかし、ウクライナ情勢の緊迫懸念で売が入り、一時マイナス圏まで下落したものの、安値では値頃感の買いもあり、プラス圏まで値を戻して引けた。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16526.95 (+25.30)、S&P500 1881.74 (+6.35) ナスダック 4156.76 (+29.79)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、3月の米耐久財受注が市場予想を上回ったことが売り材料となる半面、ロシア軍がウクライナとの国境地帯で演習を開始したとの報道などを受けて、ウクライナ情勢をめぐる緊張が一段と高まるとの懸念が広がり、逃避買いも入るなどもみ合いの展開となった。

午前の利回りは、30年債が3.48%（前日3.47%）、10年債が2.69%（2.69%）、7年債が2.28%（2.28%）、5年債が1.74%（1.72%）、3年債が0.90%（0.90%）、2年債が0.44%（0.44%）。

《欧州のポイント》

- ①スペインの第1四半期のGDPは、前期比+0.4%と市場予想の+0.3%を上回る結果となった。また、前年同期比で+0.5%となった。中銀によれば、第1四半期のペースならば2014年の成長率は1.2%となる見込み。政府目標は1.0%。ラホイ首相は、ユーロ高とデフレ懸念に脅かされている景気を支える行動をECBに求めている。
- ②スペイン政府が国債入札を実施し、56億ユーロ（77億4000万ドル）を調達した。利回りは過去最低の水準となった。10年物国債では26億ユーロを調達し、平均利回りは3.059%。3年物国債は13億ユーロを調達し、利回りは1.022%。5年物国債は16億ユーロを調達し、利回り1.663%。スペイン経済についての楽観的な見方が広がっており、ECBの量的緩和策実施に対する期待感が今回の入札で旺盛な需要を集めたとの指摘があった。
- ③ECBのドラギ総裁は、ユーロ圏のインフレ見通しが悪化した場合、ECBが広範囲な資産買い入れを実施する可能性を示唆した。また、「為替相場は物価安定見通しの評価で重要度が増している」とし、ユーロの上昇により行動が促される可能性も指摘した。そして、債券市場の混乱により政策スタンスがタイト化した場合は、さまざまな標準的措置を講じる可能性があるとした。選択肢として、預金金利をマイナスにするなど金利コリドーを押し下げることや、固定金利による全額の資金供給を2015年7月以降に延長することなどに言及した。さらに、必要なら「銀行に貸し出しを促すことを目的としたより長期のリファイナンスオペや、資産担保証券買い入れプログラム」で対応する可能性も示した。
- ④トルコ中銀は、翌日物貸出金利を12.0%、1週間物レポレート（貸付）を10.0%、翌日物借入金利を8.0%にそれぞれ据え置いた。据え置きは市場の予想通りで、政府からの利下げ圧力には屈しなかった。中銀は、インフレ見通しが大きく改善するまで引き締めスタンスを維持すると表明。引き締め策などの影響で融資の伸びがやや鈍化していると指摘するとともに、トルコの経常赤字が今年大きく改善するとの見通しを示した。

《ここまでの動き》



(出所: ネットダニアー)

- ①米耐久財受注は、市場予想を上回り、2ヵ月連続でプラスとなった。また、2013年11月以来の高い伸び率となったことを好感してUSDは主要通貨に対して堅調な動きとなった。しかし、失業保険申請件数が予想より増加したこともあり、やや上値は限定的となった。
- ②プーチン・ロシア大統領が緊急会見を開くとの噂を受けて、ウクライナ情勢の緊張感が高まり、投資家のリスク回避の動きが強まった。これを受けて、欧米の株価はプラス圏からマイナス圏まで急落し、安全資産とされる円を買い動きが優勢となった。
- ③プーチン・ロシア大統領の会見が実施されていないことから、短期勢の円売りの動きなどから、ドル円・クロス円は値を戻す動きとなった。
- ④明日の午前7:40分からあまりTPP担当相の記者会見が開かれるとの報道を受けて一段の円売りとなった。

2:00

《米財務省7債入札》

最高落札利回り・・・2.317% (前回 2.258%)
 最低落札利回り・・・2.210% (前回 2.150%)
 最高利回り落札比率・・・47.26% (前回 97.91%)
 応札倍率・・・2.60倍 (前回 2.59倍)

3:40

NY金は、中心限月が前日比6.00ドル高の1オンス=1290.60ドルで取引を終了した。

4:30

NY原油は、中心限月が前日比0.50ドル高の1バレル=101.94ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1290.60	+6.00
NY 原油	101.94	+0.50

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

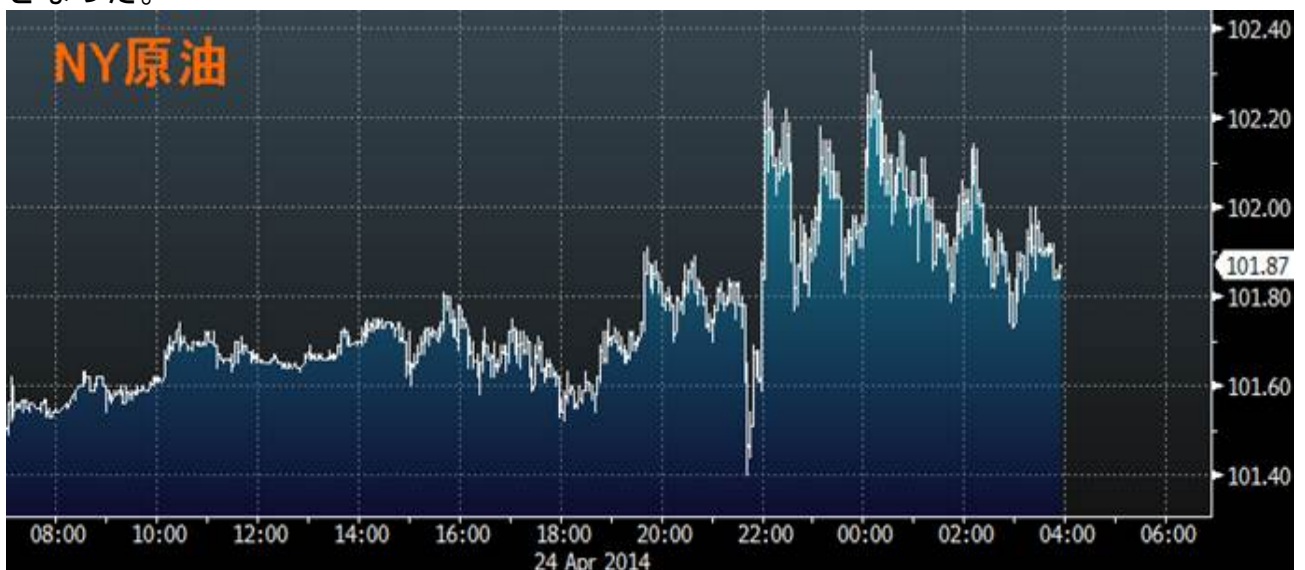
NY金は、序盤は、米耐久財受注が市場予想を上回ったことを受けて軟調な動きとなったものの、ウクライナ情勢の緊迫化への懸念を背景に、投資家にリスク回避志向が広がり、安全資産とされる金を買う動きが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米耐久財受注が市場予想を上回り、米景気の先行き期待が高まったことから堅調な動きとなった。また、ウクライナ情勢をめぐり欧米がロシアへの経済制裁を強化すれば、ロシア原油の供給にも悪影響が出るとの懸念が強まったことも押し上げ材料となった。



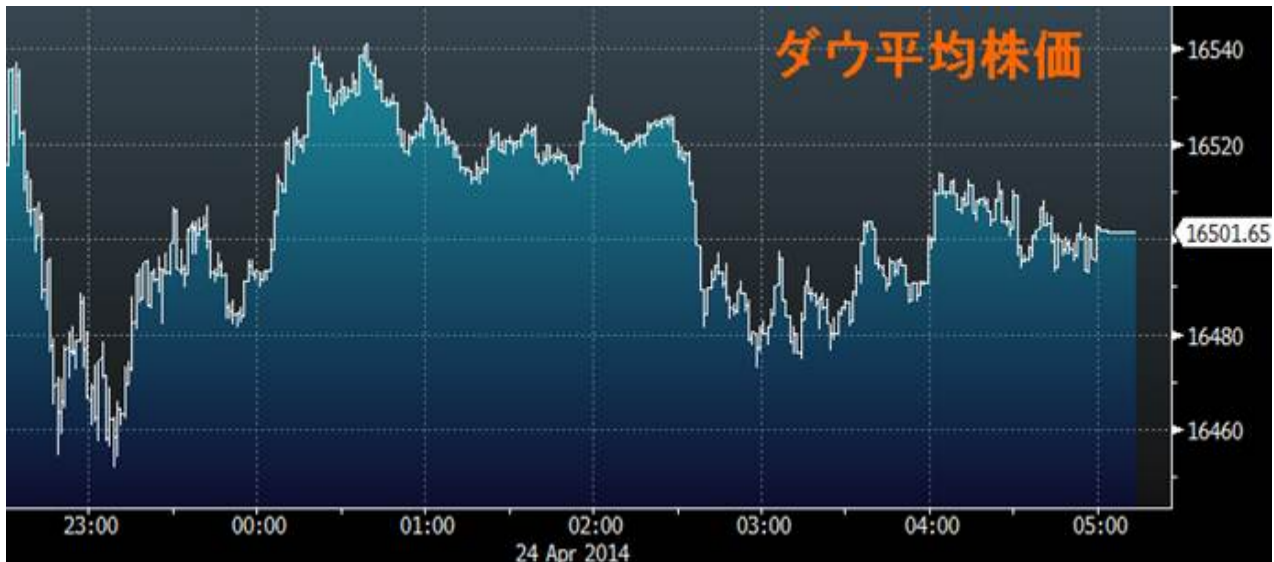
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16501.65	+0.00	16541.26	16452.30
S&P500 種	1878.61	+3.22	1884.06	1870.24
ナスダック	4148.34	+21.37	4177.16	4107.52

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、3月の米耐久財受注が市場予想を上回ったことや、米アップルが前日発表した四半期決算が好業績だったことを受けて、主要株価は堅調な展開で始まった。しかし、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に売りが出て、主要株価はマイナス圏まで下落している。その後、プラス圏まで値を戻したものの上値の重い展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなったものの、一時前日比で49ドル安まで下げる動きとなった。その後、39ドル高まで上昇したものの、上値が重く再びマイナス圏まで下げるなど、上値の重い動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	102.30	102.65	102.09
EUR/JPY	141.48	141.77	141.05
GBP/JPY	171.87	172.20	171.49
AUD/JPY	94.73	95.02	94.56
NZD/JPY	87.65	87.86	87.45
EUR/USD	1.3832	1.3834	1.3791
AUD/USD	0.9261	0.9273	0.9252

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が予想を上回ったことを受けて、ドル円クロス円は堅調な動きとなった。しかし、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、リスク回避の動きが強まり、円が大半の主要通貨に対して上昇する動きとなった。その後、株価が値を戻す動きとなったことから、ドル円クロス円も値を戻す動きとなったが、懸念が払拭した訳ではなく、上値の重い展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。